

初めは子供達の様子をうかがっていた親も、へえー、なるほど！、と興味を示し、一緒に楽しんでおられました。これをきっかけに、子ども達が手話や聴覚障がい者への理解をさらに深めてくれたらと願います。

手話サークルのみなさんは、他のブースの方々とも交流ができましたし、さらに絆が深まったように感じました。

どのサークルも高齢化で次世代へつなぎたい課題があります。若い人達がより手話に親しめるよう、聴障協の皆さんとも相談し、今回のような機会を有効に使って、啓発の仕方や教材など工夫していかなければと思いました。

(洛西たけのこ・奥村)

北から
南から

全体研修会

～「共に歩む」をに思いをめぐらす 充実した一日～
京都市手話学習会「みみずく」



手話サークルにとって「高齢化」「新しい会員が定着しない」「ろう者がこなくなった」…、これらは永遠の課題ではないでしょうか。”このままではいかん！今を生きるろう者から話を聞こう！”と、4年ぶりの全体研修会を開催。京都市聴覚障害者協会中京支部の岡田幸美さんと田原里絵さんをお招きし、「私たちがサークルに行くワケ」と題してトークショーを行いました。

「手話サークルとの出会い」から「サークルに求めること」など、いくつかのトピックについてそれぞれの経験や想いをうかがいました。

自宅マンションの火事を経験して、地域の人と手話で話すことができる重要性を再認識したこと、手話を知って初めて深く語り合えるようになったことなどを話されました。普段から仲良しのおふたりならではのかけあいに、会場は終始笑いにわいていました。

午後の分科会は、1 学習をデザインする、2 行事参加のススメ、3 伝えるってどういうこと？、のテーマに、各例会場の現状や課題を共有しながら、次年度はどう活動していくかを、意見交換しました。特に分科会1では、例会場によって学習方法が違うこともあり、白熱した議論が交わされ、”1年経って例会はどう変わったか、振り返りたい”など、各例会場に宿題を持ち帰ることができた様子でした。

サークル運営や学習の進め方にはっきりした正解はありません。だからこそ、ろう者の想いを聞きながら共に歩むみみずく会でありたい、そう思うことができた一日になりました。

(竹井)

2024年度 役員体制

総会で役員が承認され、今年度の運営体制が決まりました。よろしくお願います。

- 会 長 永濱 治夫
- 副 会 長 山崎 玲子
- 〃 徳永 泰子
- 北部ブロック長 永濱 治夫
- 口丹ブロック長 田中 勇吾
- 乙訓ブロック長 坂 真紀子
- 京都市ブロック長 田中 朋子
- 山城ブロック長 平賀 美和子
- 事務局長 仲松 大樹

- 事務局次長 高瀬るみ子
- 〃 中瀬 陽子
- 会 計 渡辺 久美
- 理 事 久保村 利恵子
- 中筋 郁子、三好 栄子
- 山岸 登美子、山崎 邦夫
- 山本 よしみ、鈴木 翔悟
- 西田 弘美 各ブロック長

京手連

第110号

2024年7月

発行
京都府手話サークル連絡会



目 次

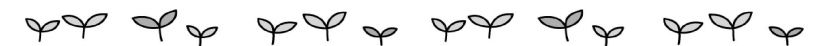
- ”条例”のあるまち
～長岡京市 1
- ろうの方との学習や
トークを大切に
／宇治太陽 3
- 初の「ヒトトバ」に参
加/洛西たけのこ他 3
- 全体研修会
／みみずく会 4
- 2024年度役員体制 4

”条例”の あるまち

～長岡京市～

「誰もが共に自分らしく暮らす長岡京市障がい者基本条例」
平成30年4月施行

この2月に耳の日記念集会在開催されたまち、長岡京市での聴覚に関わる取り組みをいくつかご紹介します。



スマホから 手話で市役所に問い合わせ

最初は、昨年3月から開始した「ながおかきょう手話サービス」です。これはろうあ者の言語である手話で市役所の手話通訳者へ問い合わせができるというものです。従来市役所への連絡は、ファクスまたはEメール、あるいは窓口へ直接足を運ばれるという方法でした。このサービスではスマートフォン等の「LINE WORKS」アプリのビデオ通話機能を使い、お互いの端末の画面を通じて言語である手話でやりとりができるのが特徴です。自宅からだけではなく外出先からも利用できますね。

聞こえる人が電話で問い合わせができるのと同じように、手話で市役所に連絡が取れるようにと、始まったものです。みなさんが普段利用されているLINEも対応しており、テキスト（文章）のやり取りは、Eメールよりも便利だと好評です。

